

ROTARY SERVING HUMANITY

人類に奉仕するロータリー

2016~17年度年度

国際ローター会長 John・F・GERM



## 東京麹町ロータリークラブ

50周年祝賀会まであと 112日

### 本日の例会プログラム

第24回例会 2018.2.19(#2193) 会場:舞の間

例会ホスト・紹介係 細谷君 会費係 時園君

受付係 濱田君 澤本君

司会者 須藤君 ソングリーダー 鄭君

### 【オープン例会】

卓話「今さら聞けないインターネットの歴史」

ヤフー執行役員 志立 正嗣氏

紹介者 保科会員

### 前回の報告

第23回例会 2018.2.5(#2192) 会場:舞の間

例会ホスト・紹介係 保科君 会費係 佐藤君

受付係 地引君 内田君

司会者 須藤君 ソングリーダー 鄭君

卓話「米山梅吉物語」

講談師 一龍齋 貞花氏

紹介者 中谷会員

### 会長報告

- 1) 今年も一月が経ちました、多少春めいてきたでしょうか？ 本日は、講談師の一龍齋様に、米山梅吉翁を講談にして披露していただきます。後程よろしくお願い申し上げます。
- 2) 2015年度に米山奨学生としてスポンサーをしました、葉秋蘭先生が、昨日開催された米山奨学会50周年記念式典に出席の為来日して、今日はふたりの御子息といらっしやいました。ご長男の蔡仲閔さん ご次男の蔡仲章さん



### 幹事報告

- 1) 先週の植樹式にご参加頂きありがとうございました。
- 2) 3月18日の歌舞伎鑑賞会のチケット申し込み用紙を配布いたしました。1枚でも多くの購入をおねがいたします。
- 3) 次回の例会はオープン例会としますので、外部の方をお気兼ね無くお連れいただきたいと存じます。
- 4) 東京RCの熊平雅人会員の会社(株)クマヒラより、毎年頂く「抜萃のつづり」を配布いたしました。ご高覧下さい。
- 5) 例会終了後、定例会理事会が御座います。理事の方はお残り下さい。

### 例会記録

会員総数 46名 出席会員数 32名  
ゲスト 3名 その他 0名  
ビジター 0名 事務局 2名  
海外ビジター 0名 出席率 72.73%

1月22日 Make-up 後の

出席率 77.27%

### 【今週のMU状況】

久保田会員・荘村会員  
(2/5 中央分区分会会長幹事会)  
新保会員・須藤会員  
(2/8 地区R財団セミナー)

### ニコニコボックス

中谷会員:貞花師匠、本日はお越しいただきありがとうございます。

須藤会員:葉先生ようこそ

浅野会員:1/29の植樹式に多数ご参加頂きありがとうございました。

夫人誕生日:福田会員(2/1)時園会員(2/11)  
蔵本会員(2/18)藤谷会員(2/25)

結婚記念日:若林会員(2/4)荘村会員(2/6)

久保田会員(2/15)福田会員(2/22)

誕生日祝い:須藤会員(2/1)新保会員(2/2)

時園会員(2/2)齊藤会員(2/27)

### 次回予告

第25回例会 2018.3.5(#2194)

会場:翠鳳の間

例会ホスト・紹介係 地引君

受付係 若林君 駒井君

会費係 崎山君

司会者 保科君

ソングリーダー 内田君

卓話 イニシエーションスピーチ

井関貴博会員

(1/1入会 中谷会員紹介)

米山奨学生として

グエンドアンチャンさん

(乳井カウンセラー)

## 緊迫化する世界情勢と日本

参議院議員 山田 宏先生(1/15卓話 久保田会員紹介)



恐らく 50 年後、100 年後の歴史家や国際政治学者は、今年あたりをかくっ付きの戦後が明確に終わった年と規定するでしょう。「戦後」とは、アメリカによる平和のことです。

私たち日本人は敗戦後、アメリカによる平和の下で、国にとって最も大事な防衛、外交、憲法、教育といった問題について、真正面から捉えずに来ました。

アメリカの時代に明確にピリオドを打ったのがトランプ大統領です。トランプはアメリカファーストを政策の主軸にしているため、もはや世界を守るアメリカではありません。そして、アメリカの力が相対的に落ちてきたために、ロシアがクリミア半島を乗っ取り、中国は南シナ海でわが物顔に振る舞っています。また、戦後ヨーロッパは誰もが必ず一つになるだろうと信じていましたが、イギリスの EU 離脱が決まり、ドイツが大きな顔をするだろうと予想されています。同じように中国、ドイツ、ロシアといった大陸国が、アメリカ、イギリス、日本といった海洋国と面と向かっていく地政学上の対立点がこれから浮き彫りになっていきます。

日本は、「戦後」の恩恵を最も受けてきましたが、今までのやり方を変えていかなければならない事態に直面しています。中でも、私たちの最大の課題は中国政策です。これから中国にひざまずくのか、それとも対等な外交関係を維持するのか、日本人の見識と勇気と決断が問われると思います。

その皮切りが北朝鮮です。北朝鮮の危険性は、軍事的な脅威だけです。アメリカがいざ攻撃対象になれば、アメリカは日本を守るとは限りません。トランプと金正恩を見ると、やはり戦争にまで行かざるを得ないのではないかと思います。金正恩は 3 代目で、何としても核保有国としてやり遂げなければならないと考えていますし、トランプは「全ての選択肢はテーブルの上にある。軍事的手段はいとわない」と言っています。トランプと金正恩という目覚まし時計が鳴っているのに、日本は「戦後」という惰眠をむさぼって、まだまだ平和が続くと思っているのです。

ですから、日本は自分の手で守らなければなりません。戦争はいけなけれども、勝てる体制を作っておかなければなりません。日本が過去の敗戦で最も反省すべきなのは、孤立していたことです。日本はとにかくけんかをせず、我慢を重ねる必要があると思います。

われわれが敵にはいけないのはロシアです。ロシアと中国はがっちり手を結んでいます。中国はロシアを牽制しています。ロシアやアメリカときちんと関係を結んでいくことが大事です。我慢していれば、中国はどこかでおかしくなります。そのとき、ぐっと前に進むことが大事だと思います。その忍耐の期間に、われわれは防衛力と外交力を高める必要があります。

ですから、きちんとした抑止力と賢い外交力が重要です。外交をうまく進めるために必要なのは、まず情報です。日本独自で情報機関を作り、しっかりとした情報を持っていなければなりません。スパイ防止法も必要になります。安全を確保するために、決断を続けていかなければなりません。

そこに憲法が出てきます。憲法 9 条は 1、2 項を残して自衛隊を明記することが、安倍首相の提案です。1 項には侵略戦争をしないことが明記され、2 項では侵略されたときは誰かに守ってもらうことになっています。ですから、日本の場合、自分の国は自分で守るといふ国家としての根幹が完全に抜けています。日本は 70 年間、平和の中にあつて、自分の国を自分で守らないで誰かに守ってもらうという依存心が強くなっていると思います。ですから、自分の国は自分で守るといふ国民の決意をもう一度確かめておかないと、日本は再生できないでしょう。

鳴り続けている目覚まし時計に、どれぐらいの日本人が目覚めることができるのかが、この数年で問われると思います。日本を再び立派な国にするという当たり前のチャレンジをしていかなければなりません。皆さま方には、「戦後」は終わったという視点でこれからの政治や社会を見つめ、地域社会に貢献していただきたいと思います。

クラブだより No.24

3月18日(日)12:00開演 @国立劇場

**ポリオチャリティー公演 歌舞伎鑑賞**

☆ 当日、幕間に食事を希望の方はお申し出下さい。

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204 号
		TEL:03-3263-9220
会長	久保田智也	FAX:03-3263-9122
幹事	莊村 明彦	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	木寅 雅之	URL: www.koujimachi-rc.jp